取扱説明書

T30 Series

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるように保管してください。

Firmware Upgradable™



iriver www.iriver.co.jp

はじめに

iriver T30 Series をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は FM ラジオも聴けるデジタルオーディオプレーヤーです。パソコンやオーディオ機器から音楽ファイルを転送し、どこへでも音楽を持ち歩いて聴くことができます。また、録音機能によりボイスレコーダーとしてお使いになることもできます。
本書では、iriver T30 Series の取扱上のご注意をはじめ、操作方法などを説明しています。iriver T30 Series の機能を最大限に活用していただくために、必ず本書をお読みになり、正しくご使用ください。

T30 は iriver plus 2 と共にお使いください。

iriver plus 2 を通してデジタル音楽や CD の楽曲をパソコンに取り込めます。iriver plus 2 を使用すると、効率良く音楽を取り込んで管理できます。
デジタル音楽や CD の曲をアーティスト別、アルバム別、ジャンル別などの多様な方法で整理することができ、お好みのプレイリストを作成して T30 に転送できます。

注意

- 本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
- 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
- 記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

著作権、認可、登録商標、免責事項

著作権

iriver 社は、本書に関するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver 社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられることがあります。知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、およびビデオは著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベントは実際に存在するものではありません。iriver 社は、本書を利用して、本製品を特定の会社、組織、製品、個人、およびイベントに結び付けようとは考えておりません。また、本書の内容から何らかの別の意味を導き出そうとも考えておりません。お客様には、著作権や知的所有権を遵守していただく必要があります。
©1999-2006 iriver Limited. All rights reserved.

認証

本製品は以下の認証規格を取得しています。
CE、FCC、MIC

登録商標

- iriver は、大韓民国およびその他の国における iriver Limited の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- Windows XP、および Windows Media Player は、Microsoft 社の登録商標です。
- SRS(●) は、SRS Labs, Inc. の登録商標です。
- その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

免責事項

お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたために人身事故や他の損害、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、および販売店は、このような損害に対して責任を負いかねます。本書の情報は現行の製品仕様に合わせて作成したものです。
製造者である iriver 社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。予告なく、仕様を変更することがありますので、ご了承ください。

取り扱いについてのご注意

製品関連

1　重いものを製品の上に置かないでください。
2　湿気やほこりの多い場所、煙のかかる場所は避けてください。
3　製品が濡れた場合は絶対に電源を入れないで、サポートセンターまでお問い合わせください。
4　2 つ以上のボタンを同時に押さないでください。
5　直射日光の当たる場所や温度が極端に高い／ 低い場所は避けてください。
6　製品を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
7　化学薬品や洗浄剤は製品の表面の変色や破損の原因となるため、使用しないでください。
8　幼児、ペットの近くに置かないでください。
9　製品を分解、修理、改造しないでください。
10　データの転送中は USB ケーブルを取り外さないでください。

イヤホンで聴くときのご注意

1　自転車、自動車、オートバイなどの運転中にヘッドホンやイヤホンを使用しないでください。
2　歩行中、特に横断歩道を渡るときは、ボリュームを下げてください。
3　ヘッドホンやイヤホンを使用する際は、ボリュームを下げてください。
4　耳鳴りを感じたら、ボリュームを下げるかまたは使用をおやめください。
5　ヘッドホンやイヤホンのコードが電車や車のドアなどに挟まれることのないよう、きちんとまとめておいてください。

目次

1 準備する

付属品の確認

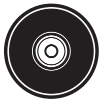
本体のほかに以下の付属品が含まれていることをご確認ください。



イヤホン



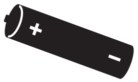
USB ケーブル



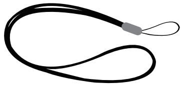
インストール CD



取扱説明書
保証書



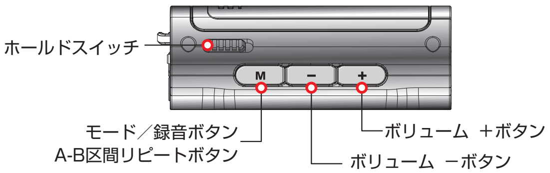
乾電池（単４形）

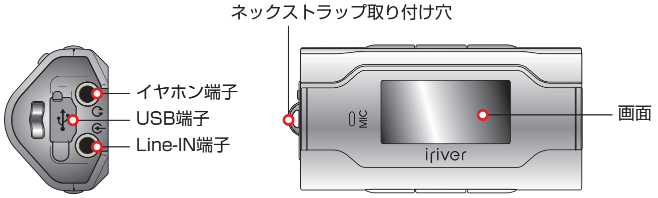


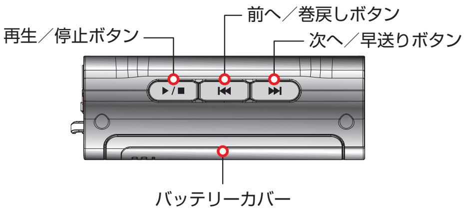
ネックストラップ

各部のなまえ

図は実際のプレーヤーと多少異なる場合があります。



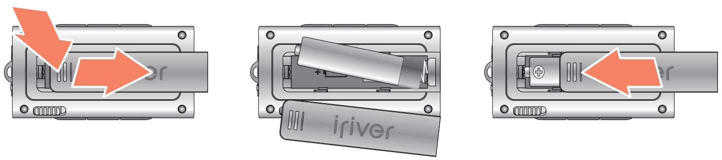




必要なコンピュータのシステム構成

- 300MHz 以上の CPU プロセッサを装着した Windows マシン
- Windows XP Home あるいは Professional、Windows2000（Windows98、Windows Me では使用できません）
- USB 2.0 または USB 1.1（USB 1.1 はファイル転送などの性能が低下します）
- インターネット接続環境（ブロードバンド推奨）
- iriver plus2 ソフトウェアが動作すること（iriver plus 2 はインストール CD に含まれています）
- CD-ROM ドライブ

電池の交換

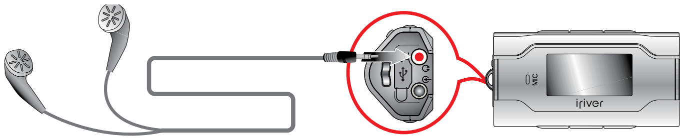


①バッテリカバーを開ける　②単４形乾電池の＋と－を正しくをいれる　③バッテリカバーを閉める

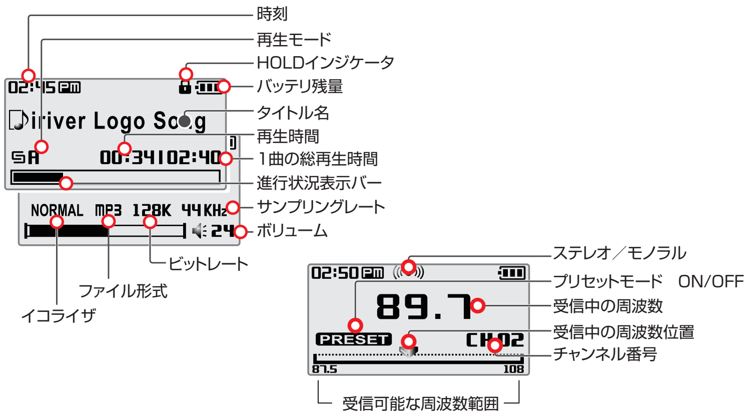
＊ プレーヤーを長時間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。
＊ 使い切った電池はすぐにプレーヤーからから取り出してください。
＊ 万が一、電池が腐食・液漏れしてしまったら、乾いた布でバッテリ入れの内部を拭いて、新しい電池と交換してください。その際、直接皮膚に触れないように注意してください。

イヤホンを接続する

イヤホン端子に付属のイヤホンを接続します。

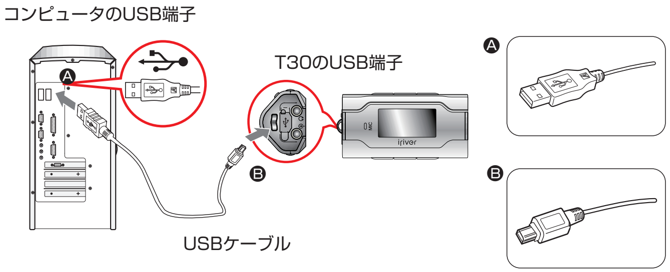


画面表示について



パソコンとプレーヤーを接続する

❶本製品に付属のケーブルを使用してプレーヤーとコンピュータを接続します。



❷プレーヤーの電源をオンにします。「USB で接続中」と表示されます。

❸「マイ コンピュータ」を開くと、リムーバブル記憶域があるデバイスの欄に「T30」と表示されます。



プレーヤーをパソコンから取り外す

❶iriver plus2 の「ファイル」メニューから「ポータブル デバイスの切断」を選択します。

＊または、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を選択します。

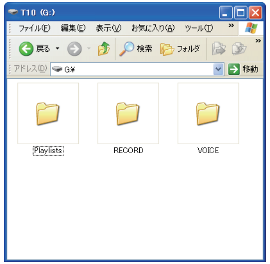
❷iriver plus 2 のステイタスバーに「ポータブルデバイスが切断されました」と表示されたら USB ケーブルを取り外します。

＊USB ケーブルを取り外すときには、静かに引き抜いてください。

＊「使用中です．…」のメッセージが表示されている間は、USB ケーブルを取り外さないでください。T30 本体や保存されたデータが破損するおそれがあります。

■データファイルを持ち運ぶには

マイ コンピュータ上に表示される T30 ドライブには、各種のデータファイルの保存や削除、フォルダの作成などができます。容量の大きいデータファイルを持ち運ぶときなどにご利用ください。



T30 のアイコン上にファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップするとファイルの持ち運びが可能になります。

■録音したファイルの名前や移動も可能

＊ファイル名を変える

「VOICE」または「RECORD」フォルダに保存されたファイルの名前は、右クリックで「名前の変更」を選択して、オリジナルのファイル名に変えることができます。

＊フォルダを移動する

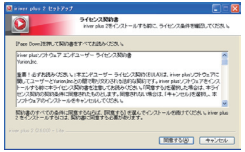
「VOICE」または「RECORD」フォルダに保存されたファイルはレジューム再生ができません。別のフォルダや階層に移動することでレジューム再生が可能になります。

iriver plus 2 をインストールする

音楽ファイルの転送に必要な iriver plus 2 をパソコンにインストールします。
iriver plus 2 の詳しい説明は iriver plus 2 の取扱説明書をご覧ください。

❶パソコンの CD-ROM ドライブに付属のインストール CD をセットします。

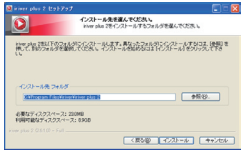
CD-ROM が自動認識され、インストールメニューが表示されます。
表示されない場合は「iriver2_setup_full.exe」をダブルクリックしてください。


「同意する」をクリックして次にすすみます

❷画面のメッセージにしたがって手順を進めます。

「ライセンス契約書」は内容をよくお読みになり、［同意する］をクリックしてください。

＊コンポーネントの選択画面では、はじめてインストールする際は［フルインストール］を選択してください。
＊インストール先を選択できます。とくに変更する必要はありません。
＊インストールオプションの選択では、iriver plus 2 に関連付けるファイルの種類を選択できます。とくに変更する必要はありません。ここで選択したファイルをダブルクリックすると、iriver plus 2 が起動するようになります。


インストール先の選択画面

❸インストールの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

デスクトップに iriver plus 2 のアイコンが表示されます。

＊アップグレードのメッセージが出たら、「はい」をクリックして最新版のインストールを行ってください。
＊これで、音楽ファイルを管理するための専用ソフトウェア iriver plus 2 がインストールできました。続いてプレーヤーをパソコンに接続します。プレーヤーをパソコンに接続する際は、再生が停止している状態で行ってください。



インストールの完了画面

CD から音楽ファイルを作成する

オーディオ CD をパソコンにセットして、iriver plus 2 で音楽ファイルを作成します。

＊詳しい操作方法は iriver plus 2 の取扱説明書をご覧ください。
＊再生中は録音できません。音楽の再生を停止してから録音してください。
＊録音された音楽は、ライブラリの［すべての音楽］に追加されます。
＊録音された音楽は、WMA 形式のファイルでパソコンの「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダに保存されます。

❶オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

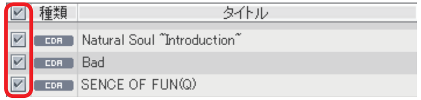


＊しばらくして、CD の音楽情報がメディアライブラリに表示されます。パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

❷曲情報を取得します。

＊CD の音楽情報が自動的に表示されない場合は、CD のアイコンを右クリックして、「Gracenote から CD の情報を取得」を選択します。

❸録音する曲をチェックします。



❹「CD から録音」ボタンをクリックします。

❺「開始」ボタンをクリックします。

トラック情報の編集ウィンドウが表示されます。タイトルやアーティスト名、アルバム名などの情報が正しければ、［開始］をクリックします。

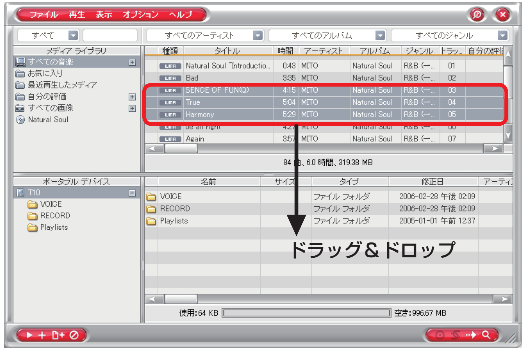
＊録音中はそれぞれのトラックに録音経過状態が表示されます。

プレーヤーに音楽を転送する

iriver plus 2 の機能を使ってパソコンからプレーヤーへ音楽ファイルを転送します。

❶iriver plus 2 のメディアウィンドウに表示されるトラックを選択します。
❷選択したままプレーヤー側にドラッグ＆ドロップします。

＊ 音楽ファイルの転送がはじまり、数分して転送が完了します。



＊ フォルダの下層に新しいフォルダを作成することにより、フォルダを階層化できます。フォルダ数 500、ファイル数 1000、最大８階層のフォルダに対応しており、プレーヤーでツリー構造に表示することができます。
＊ プレーヤーには「VOICE」「RECORD」フォルダがあります。これは、音声録音や FM ラジオの録音などで生成された音声ファイルを保存するために用意されているものなので、音楽ファイルは、それ以外の場所にドラッグ＆ドロップすることをおすすめします。

2 再生

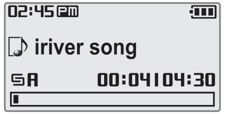
電源のオン・オフ

電源の入れ方、切り方、自動電源オフの設定について説明します。

1 ▶/■ を押すと、電源が入ります。

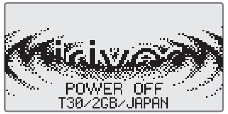


iriver の起動画面が表示された後、直前に使用していたモードの画面が表示されます。
はじめてお使いのときは、音楽の再生画面が表示されます。
〈注意〉HOLD スイッチがオンになっていると、ボタン操作ができません。オフであることを確認してください。
HOLD スイッチ　→ P.8



2 ▶/■ を長押しすると、電源が切れます。

＊長押し＝２秒以上押すことです。
終了画面が表示された後、画面が消えます。



電源オフタイマーの設定

バッテリの消耗を防ぐため、一定時間が経過すると、自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は､設定メニュー［タイマー設定］の［電源オフタイマー］または［スリープタイマー］を設定することにより変更できます。　設定→ P.53

- ［電源オフタイマー］は、プレーヤーが停止状態のまま一定時間が経過すると、電源が切れるタイマーです。
- ［スリープタイマー］は､電源を入れてから一定時間が経過すると､電源が切れるタイマーです。

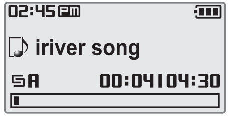
音楽ファイルを再生する

プレーヤーにイヤホンを接続して、音楽を聴きます。

- あらかじめプレーヤーに音楽ファイルを転送しておく必要があります。「準備」（P.10～18）をお読みください。
- イヤホンはイヤホン端子（🎧）に差し込みます。

1 電源が入っていない場合は、▶/■ を押して電源を入れます。

直前に使用していたモードの画面が表示されます。
〈注意〉HOLD スイッチがオンになっていると、ボタン操作ができません。
オフであることを確認してください。



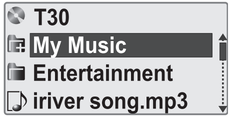
▶/■ を押すと、直前に聴いていた曲から連続再生されます。初めてお使いになる場合や、バッテリの入れ替えをした後は１曲めから再生されます。再生する曲を探すときや、音楽以外のモード画面が表示されたときは、次の手順に進みます。

2 ［BROWSER］モードに切り替えます。



M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ を押して［BROWSER］モードに切り替え、▶/■ で決定します。
プレーヤーに保存されているフォルダとファイルが一覧表示されます。

3 再生する曲をボタン操作で探します。



⏮ ⏭：上下に移動
M ：上の階層に移動する、元の画面に戻る
▶/■ ：下の階層に移動

4 ▶/■ を押すと、指定した曲が再生されます。

再生を停止するときは、再び ▶/■ を押します。

◆再生中の基本操作

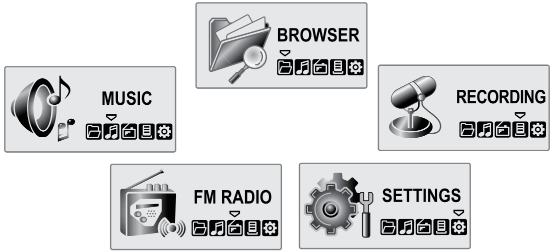
音量を調節する
＋：音量を大きくする
ー：音量を小さくする
前の曲／次の曲を再生する
⏮：前の曲を再生
⏭：次の曲を再生
早送り／巻戻しする
⏮を１秒以上押す：巻戻し
⏭を１秒以上押す：早送り

再生画面の見方

再生中の画面表示は以下のようになっています。
タイトルが長い場合はスクロール表示されます。スクロールの方向と速度は、設定を変えることができます。　スクロール速度　→ P.49

モード切り替えについて

M を長押しすると､モード選択の状態になります｡⏮ または⏭で[BROWSER] [MUSIC] [FM RADIO] [RECORDING] [SETTINGS] の５つのモードが切り替わります。



※FM チューナー搭載モデルに限り表示されます

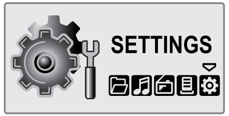
再生モードを設定する〈リピート／シャッフル〉

通常はプレーヤーに保存された全曲を登録した順番で再生しますが、特定の曲だけを繰り返したり、ランダムな順番で再生することができます。

• 電源が入っていない場合は▶/■ を押して電源を入れます。

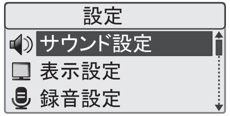
1 **M** を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。

設定のメニュー画面が表示されます。



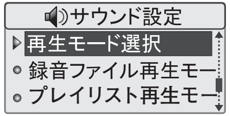
2 ⏮ または ⏭ で［サウンド設定］を選択して、▶/■ で決定します。

サウンド設定のメニュー画面が表示されます。



3 ⏮ または ⏭ で［再生モード選択］を選択して、▶/■ で決定します。

再生モード選択画面が表示されます。



4 ⏮ または ⏭で再生モードを選択して、▶/■ で決定します。

選択した再生モードが適用されます。



再生モードの種類

再生モードの種類は以下のとおりです。

通常再生	A	すべての曲が再生される
	D	フォルダ内の曲が再生される
リピート	↻1	１曲が繰り返し再生される
	↻A	すべての曲が繰り返し再生される
	⇄D	フォルダ内の曲が繰り返し再生される
シャッフル	S A	すべての曲がランダムな順番で再生される
	S D	フォルダ内の曲がランダムな順番で再生される
シャッフル リピート	S↻A	すべての曲がランダムな順番で繰り返し再生される
	S↻D	フォルダ内の曲がランダムな順番で繰り返し再生される

2　再生

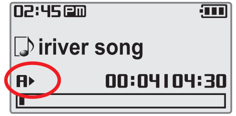
A から B までを繰り返し再生する〈A-B 区間リピート〉

再生中に開始位置 (A) と終わりの位置 (B) を指定することにより、A-B の間だけを繰り返し再生することができます。

電源が入っていない場合は ▶/■ を押して電源を入れます。

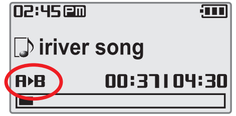
1 音楽の再生中に **M** を押します。

リピートする区間の開始点 (A) が指定され、画面に A のアイコンが表示されます。



2 再度、音楽の再生中に **M** を押します。

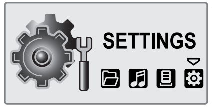
リピートする区間の終了点 (B) が指定され、画面に A-B のアイコンが表示されます。
A-B 区間の再生が繰り返し再生されます。



リピートを解除するときは、**M** を押します。

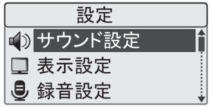
サウンドを好みに合わせて設定する〈EQ 選択〉

EQ（イコライザ）とは、低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれの楽曲に適した音のバランスを設定するしくみをいいます。通常は［NORMAL］に設定されています。



1 ⏮ または ⏭で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。

設定のメニュー画面が表示されます。



2 ⏮ または ⏭で［サウンド設定］を選択して、▶/■ で決定します。

サウンド設定のニュー画面が表示されます。



3 ⏮ または ⏭で［EQ 選択］を選択して、▶/■ で決定します。

再生モード選択画面が表示されます。



4 ⏮ または ⏭で EQ を選択してサウンドを試聴し、▲ / ■ で決定します。

再度、設定を変更するまで選択した EQ が適用されます。

EQ の種類と特長

EQ（イコライザ）は 12 種類あり、以下のような特長があります。

名称	特長
NORMAL	標準
CLASSIC	クラシック音楽に特化
LIVE	ライブ音源に最適
POP	重低音が若干強調されリズミカルな感じ
ROCK	ロック向けにボーカルが強調される
JAZZ	ピアノの音がきれいで透き通った感じ
U　BASS	バスが強調され重低音が楽しめる
METAL	歪みが目立つ感じ
DANCE	音が若干濁り重低音が目立つ
PARTY	パーティー会場にいるような感じ
SRS	3D サウンドモード
USER　EQ	ユーザによる設定

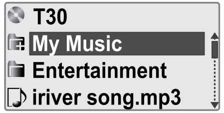
ファイルを削除する

プレーヤーに保存されたファイルを削除する方法を説明します。

• 再生している場合は、▶/■ を押して停止します。

1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮または⏭で［BROWSER］に切り替えて、▶/■で決定します。

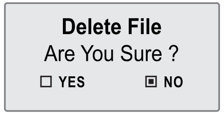




2 削除したいファイルを ⏮ または ⏭ で探して、− を押します。



3 ⏮ または ⏭ で［YES］を選択して、▶/■で決定します。



3 FMチューナー

FMラジオを聴く

周波数を合わせて FM ラジオ放送を聴きます。
イヤホンがアンテナの役割をするため、必ずイヤホンを接続してからご使用ください。
ラジオ局の周波数は地域によって異なるため、あらかじめ聴きたい周波数を登録しておくと便利です。（ラジオ局を登録する→ P.34）また、ラジオ局の周波数がわからない場合も、オートスキャン（自動選局）機能により、受信可能な周波数を見つけることができます。

〈注意〉電波の弱い地域では、一部の放送が受信できなかったり、受信状態が悪い場合があります。

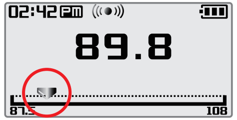
1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ で［FM RADIO］に切り替えて、▶/■ で決定します。



• 画面に［PRESET］と表示されている場合は、▶/■ を押して［PRESET］の表示を消してください。

2 ⏮ または ⏭ で周波数を変更します。

⏮ または ⏭ を長押しすると、受信できる周波数に自動で移動します。



オートスキャンが有効な状態

◆ 登録したラジオ局を選ぶには

まず、ラジオ局を登録します。→ P.35
▶/■ を押して画面に［PRESET］を表示します。
⏮ または ⏭ を押して、登録したラジオ局のチャンネルを選びます。



［PRESET］と表示されている場合

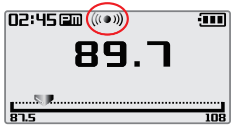
ステレオ／モノラルを切り替えるには

1 FM ラジオの受信中に **M** を押すと、設定メニューが表示されます。

2 ⏮ または ⏭ で［STEREO ON］または［STEREO OFF］を選択して、▶/■ を押します。

ステレオとモノラルが交互に切り替わります。





ラジオ局を登録する

ラジオ局の周波数は地域によって異なるため、あらかじめ聴きたい周波数を登録しておくと便利です。

自動で登録する

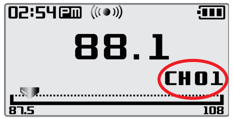
• FM ラジオのモードに切り替えます。　FM ラジオを聴く　→ **P.32**

1 **M** を押すと、設定メニューが表示されます。

2 ⏮または⏭で［AUTO SAVE］を選択して、▶/■ で決定します。

自動的に周波数のスキャンがはじまり、受信可能な周波数が見つかると順次登録されます。
M を押すと、元の画面に戻ります。
登録件数は最大 20 件です。





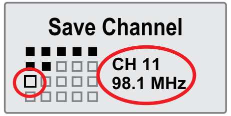
手動で登録する

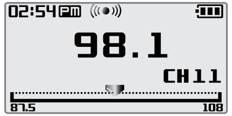
• FM ラジオのモードに切り替えます。　FM ラジオを聴く　→ P.32
• ▶/■ を押して［PRESET］の表示が消えた状態にします。

1 ⏮ または ⏭ を長押しします。

周波数を連続的にスキャンし、受信可能な周波数で停止します。
スキャンを繰り返して、登録したいラジオ局に周波数を合わせます。







2 M を押すと、設定メニューが表示されます。

3 ⏮ または ⏭ で［SAVE CHANNEL］を選択して、▶/■で決定します。

登録画面が表示されます。■は使用中、□は空いているチャネルを表しています。

4 ⏮ または ⏭ で空きチャネルのいずれかを選択して、▶/■を押すと、周波数が登録されます。

M を押すと、元の画面に戻ります。
登録件数は最大 20 件です。

登録を削除する

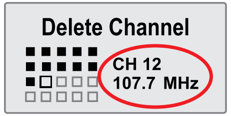
• FM ラジオのモードに切り替えます。 FM ラジオを聴く　→ P.32
• ▶/■ を押して［PRESET］が表示されている状態にします。

1 M を押すと、設定メニューが表示されます。



2 ⏮ または ⏭ で [DELETE CHANNEL] を選択して、▶/■で決定します。

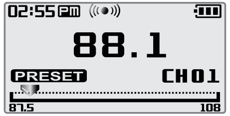
登録画面が表示されます。■は使用中、□は空いているチャネルを表しています。



3 ⏮ または ⏭ で削除したいチャネルに合わせて▶/■を押すと、登録が削除されます。

M を押すと、元の画面に戻ります。

すべての登録を削除すると、［EMPTY］と表示されます。



4 録音

内蔵マイクで音声を録音する

プレーヤーの内蔵マイクで会議などの音声を録音します。

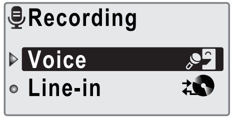
〈注意〉電源やメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。最大録音時間は、低音質（32Kbps）で約 36 時間（メモリ 512MB の場合）です。

1 **M** を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭で［RECORDING］に切り替えて、▶/■ で決定します。



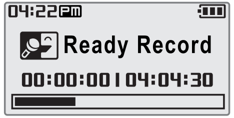
録音の設定メニューが表示されます。

2 ⏮ または ⏭ で［Voice］を選択して、▶/■で決定します。



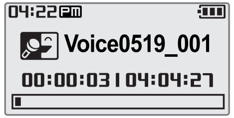
録音スタンバイ画面が表示されます。

3 **M** を押すと、音声録音が開始されます。



録音中に一時停止するとき、録音を再開するときは、▶/■ を押します。

4 録音を終了して音声ファイルを保存するときは、再度、**M** を押します。



- 録音した音声ファイルは［VOICE］フォルダに保存されます。
- ファイル名は、VOICEMMDD_XXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になっています。
- 音声ファイルを再生するときは、［BROWSER］モードでファイルを選択して、▶/■ を押します。レジューム再生はできません。パソコンに接続し、パソコン上の操作にて［VOICE］フォルダ以外の場所にファイルを移動するとレジューム再生が可能になります。
- ［音声録音設定］により、録音品質を〈高音質／標準／低音質〉の３段階に設定することができます。音声録音設定　→ P.51
- 音声自動認識の設定をすると、無音のときは録音が自動的に一時停止します。音声自動認識　→ P.51

外部オーディオ機器から録音する

CD ラジカセやコンポなどのオーディオ機器とプレーヤーを接続して、パソコンを使わずに音楽を取り込みます。

〈注意〉バッテリやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。

- オーディオ機器に音楽 CD をセットします。オーディオケーブル※を使い、プレーヤーの Line-in 端子（ ）とオーディオ機器の Line-out 端子を接続しておきます。

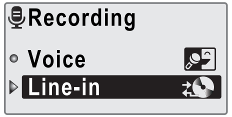
1 M を長押しすると、モード選択の状態になります。⏮ または ⏭ で［RECORDING］に切り替えて、▶/■で決定します。

録音の設定メニューが表示されます。



2 ⏮ または ⏭ で［Line-in］を選択して、▶/■で決定します。

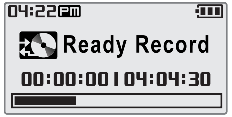
録音スタンバイ画面が表示されます。



※オーディオケーブルは別途ご用意ください。また、オーディオケーブルは**「抵抗なし」「ステレオ」**のタイプをご使用ください。

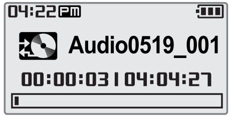
3 M を押すと、Line-in 録音が開始されます。

録音中に一時停止するとき、録音を再開するときは、▶/■を押します。



4 録音を終了して音楽ファイルを保存するときは、再度、M を押します。

CD の全曲が 1 つの音楽ファイルとして保存されます。



- 録音したファイルは RECORD フォルダに保存されます。
- ファイル名は、AUDIOMMDD_XXX.MP3（MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になっています。
- ファイルを再生するときは、［BROWSER］モードでファイルを選択して、▶/■ を押します。ファイルはレジューム再生ができません。パソコンに接続し、パソコン上の操作にて［RECORD］フォルダ以外の場所にファイルを移動することでレジューム再生が可能になります。
- ［ライン入力設定］により、録音品質を〈高音質／標準／低音質〉の3段階に設定することができます。　ライン入力設定　→ **P.51**
- ［ライン入力ボリューム］の設定により、録音のボリュームを 0 ～ 31 のレベルで調節できます。　ライン入力ボリューム　→ **P.52**
- ［曲間自動分割］の設定により、無音状態を曲の区切りととらえて、曲単位にファイルを分割して録音できます。　曲間自動分割　→ **P.52**

FMラジオ放送を録音する

F Mラジオの放送を録音します。
〈注意〉バッテリやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。

1 **M** を長押しすると､モード選択の状態になります。
⏮ または ⏭で［FM RADIO］に切り替えて、
▶/■で決定します。



直前に合わせていた周波数の放送が聴こえます。
録音したい周波数に合わせます。
FMラジオを聴く　→ **P.32**

2 FM ラジオの受信中に **M** を押すと、設定メニューが表示されます。

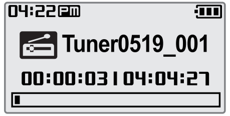
3 ⏮または⏭で［RECORDING］を選択して、▶/■で決定します。

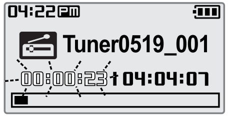


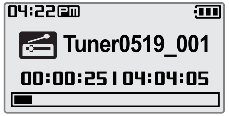
録音が開始されます。録音中に一時停止するとき、録音を再開するときは、▶/■ を押します。

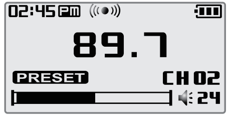
4 録音を終了して音声ファイルを保存するときは、**M** を押します。

- 音したファイルは TUNER フォルダに保存されます。ファイル名は､TUNERMMDD_XXX.MP3（MM:月､DD:日､XXX：保存番号）という形式になっています。
- ファイルを再生するときは、［BROWSER］モードでファイルを選択して、▶/■ を押します。ファイルはレジューム再生ができません。パソコンに接続し、パソコン上の操作にて［RECORD］フォルダ以外の場所にファイルを移動することでレジューム再生が可能になります。
- ［FM 録音設定］により、録音品質を〈高音質／標準／低音質〉の３段階に設定することができます。　FM 録音設定 → **P.51**
- 録音中はボリュームの調節はできません。









5 設定

利用スタイルやお好みに合わせて、各種の設定を変更できます。

〈注意〉設定メニューは､ファームウェア（プレーヤーの基本ソフト）のバージョンによって異なる場合があります。最新バージョンにアップグレードしてお使いになることをおすすめします。 ファームウェアをアップグレードする →P.57

設定メニューは次のページのとおり２階層で構成されています。

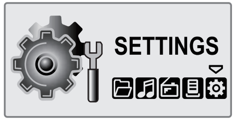
設定メニューは下図のように２階層で構成されています。

- サウンド設定
  - SRS設定
  - カスタムEQ
  - EQ選択
  - 再生モード選択
  - 録音ファイル再生モード
  - プレイリスト再生モード
- タイマー設定
  - 電源オフタイマー
  - スリープタイマー
  - 日付と時刻
  - アラーム/FM録音
  - アラーム時刻設定
  - FMタイマー録音
- 表示設定
  - バックライト時間
  - スクロール速度
  - タグ情報表示
  - 言語設定
  - 名前設定
  - 画面コントラスト
- 拡張設定
  - レジューム
  - システム情報
  - 早送り/巻戻し速度
  - 再生速度
  - 学習機能
  - 初期設定に戻す
  - フォーマット
- 録音設定
  - FM録音設定
  - 音声録音設定
  - 音声自動認識
  - ライン入力設定
  - ライン入力ボリューム
  - 曲間自動分割

設定変更の操作

設定の操作は各項目とも基本的に共通です。ここでは［カスタム EQ］を例に説明しますので、参照して必要な設定をしてください。

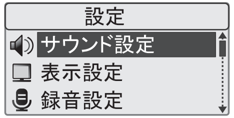
1 設定モードに切り替える



M を長押しすると、モード選択の状態になります。

⏮ または ⏭で［SETTINGS］に切り替えて、▶/■ で決定します。
設定のメインメニュー画面が表示されます。

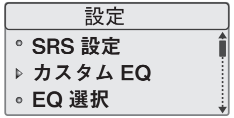
2 メインメニューを選択する



⏮または⏭でメインメニューのいずれかを選択して、▶/■ で決定します。

ここでは［サウンド設定］を選択します。サブメニューが表示されます。

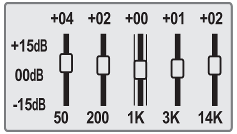
3 サブメニューを選択する



⏮ または ⏭ でサブメニューのいずれかを選択して、▶/■ で決定します。

ここでは［カスタム EQ］を選択します。設定画面が表示されます。

4 設定する



ボタンを使って設定します。

⏮：設定値を下に変更、項目間を移動
⏭：設定値を上に変更、項目間を移動
▶/■ ：設定値や選択対象を決定

ここでは、5つの周波数帯を表すバーを左から順に設定していきます。⏮または⏭で設定値を上下に変更して、▶/■ で決定します。決定すると、つぎのバーに移動するので、以下同様に設定します。

5 設定を終了する

M を押すと、1つ前の画面に戻ります。 **M** を繰り返し押すことによって、設定モードを終了します。

設定一覧

各設定メニュー項目の機能と設定値の意味を解説します。

サウンド設定

＊ SRS 設定

SRS は立体的な音響効果の技術。４タイプの立体効果のレベル設定ができる。
SRS：仮想３次元音響効果
FOCUS：サウンドの鮮明度
TRUBASS：低音強調の値
BOOST：サウンドのブースト（増幅）値

＊カスタム EQ

周波数帯ごとにレベル調整して独自の音響効果を設定する。
周波数レベル -15dB ～ +15dB

＊ EQ 選択

低音／中音／高音の領域ごとに強弱を調節して、それぞれ楽曲に適した音のバランスを設定したイコライザを 12 タイプから選択する。→ P.26

＊再生モード選択

音楽ファイルの再生方法を設定する。→ p.23

＊録音ファイル再生モード

内蔵マイクやライン入力した録音ファイルの再生方法を設定する。
：フォルダ内のすべてのファイルが再生される
：１つのファイルが繰り返し再生される
：フォルダ内のすべてのファイルが繰り返し再生される

＊プレイリスト再生モード

プレイリストの再生方法を設定する
：フォルダ内の曲が再生される
：１曲が繰り返し再生される
：プレイリスト内の曲が繰り返し再生される
：プレイリスト内の曲がランダムに再生される
：プレイリスト内のすべての曲がランダムな順番で繰り返し再生される

表示設定

＊バックライト時間

画面のバックライトの点灯継続時間を設定する。
時間を短く設定することにより、バッテリを節約できる。
5 秒 /10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /10 分 / 常時点灯

＊スクロール速度

文字情報（曲名、アーティスト名）のスクロールタイプとスクロール速度を調節する。
スクロールタイプ
SCROLL（文字が流れる）／ VERTICAL（垂直）／ HORIZONTAL（水平）
速度：SLOW（低速）/NORMAL（通常）/FAST（高速）

＊タグ情報表示

タグ情報を利用して音楽ファイルの情報や歌詞表示のいずれかを表示する。
ON：表示する
OFF：表示しない（ファイル名が表示される）
CAPTION OFF：タグ情報を表示する
タグ情報がない曲の場合は、ファイル名のみの表示となります。

＊言語設定

設定メニューの表示言語を 40 種類から選択する。
初期設定は JAPANESE 、アルファベット順に国名が表示される。

＊電池選択

使用する電池の種類（乾電池または充電池）を選択する。
選択した電池のタイプに合わせて電池残量が表示される。
アルカリ乾電池：ALKALINE ／充電池：RECHARGEABLE を選択してください。

＊名前設定

プレーヤーの電源を入れたときの画面に、設定した文字が表示される。
⏮ または ⏭ で文字を選択して、▶/■ で決定。
＋／－ で入力位置を左右に移動、入力した文字を削除するときは － を長押しする。
文字種（カナ／英数字／記号）を切り替えるときは ＋ を長押しする。スペースは数字の「9」と「!」のあいだのスペース記号で入力。

＊画面コントラスト

画面のコントラスト（明暗の差）を調節する。
-10 ～ +10 の範囲

録音設定

＊ FM 録音設定

FM 録音の音質を設定する。
HIGH：高音質（256Kbps）／ MIDDLE：標準（128Kbps）／ LOW：低音質（64Kbps）

＊音声録音設定

音声録音の音質を設定する。
HIGH：高音質（128Kbps）／ MIDDLE：標準（64Kbps）／ LOW：低音質（32Kbps）

＊音声自動認識

無音のときは録音が自動的に一時停止、音を感知すると録音を再開する。
LEVEL：OFF（音声自動認識の設定をしない）
音声認識のレベル〈01/02/03/04/05〉から指定（数値が小さいほど小さな音にも反応）
TIME(SEC)：無音が何秒続くと一時停止するかを
〈01/02/03/05/10〉から秒数で指定

＊ライン入力設定

コンポや CD ラジカセなどの外部オーディオ機器から録音するときの音質を設定する。
HIGH：高音質（320Kbps）／ MIDDLE：標準（256Kbps）／ LOW：低音質（128Kbps）

＊ライン入力ボリューム

コンポや CD ラジカセなどの外部オーディオ機器から録音するときのボリュームを設定する。
0 ～ 31 までの範囲で設定

＊曲間自動分割

無音状態を曲の区切りととらえて、曲単位にファイルを分割して録音する設定。
OFF：曲間自動分割の設定をしない
TIME（SEC）：〈01 ～ 10〉から秒数で指定

タイマー設定

＊電源オフタイマー

プレーヤーが停止状態で一定時間を過ぎると自動的に電源が切れる設定。
1/2/3/5/10/20/30/60（分）

＊スリープタイマー

一定時間を過ぎると自動的に電源が切れる設定。
OFF：スリープ設定をしない
5/10/20/30/60/120/180 MIN（分）

＊日付と時刻

現在の日付と時刻を設定する。

＊アラーム /FM 録音

アラームまたは FM タイマー録音を有効にする設定
OFF：アラーム /FM 録音の設定をオフにする
ALARM：アラームの設定をオンにする
FM RECORDING：FM 録音の設定をオンにする
〈注意〉アラームと FM タイマー録音を同時に使用することはできません。

＊アラーム時刻設定

アラームが鳴る時刻と繰り返しの設定をする。
DAILY（毎日）／ MON-SAT（月～土）／ MON-FRI（月～金）／ SAT（土）／ SUN（日）

＊ FM タイマー録音

指定した時刻に FM ラジオの録音を開始する。
設定が有効である限り、毎日同時刻に FM ラジオの録音が開始される。

拡張設定

＊レジューム

電源オフ、再生を停止した後、ふたたび再生するときに、直前に再生していた曲から開始される。
ON：有効
OFF：無効
※ T30 で録音した音声ファイル、FM チューナー録音ファイル、ダイレクト録音したファイルは、録音されたままの状態ではレジューム機能は使用できません。レジューム機能を使用するときは［RECORD］フォルダ、［VOICE］フォルダからファイルを移動する必要があります。

＊システム情報

製品の情報を確認する。
FIRMWARE：ファームウェアのバージョン
FREE SPACE：メモリ残量
TOTAL TRACKS：保存されたすべての音楽ファイル数

＊早送り / 巻戻し速度

早送りや巻戻しの速度を設定する。
1X/2X/4X/6X（倍速）（ 1 が通常の早送り／巻戻しスピード）

＊再生速度

再生速度を設定する（語学学習に有効）。
-5（遅い）～ +5（速い）の範囲（0 が通常の再生スピード）

＊学習機能

再生中に⏮または ⏭ボタンで移動する時間を設定（語学学習に有効）。
OFF：無効
3/10/20/30/60/120/180 SEC（秒）
※設定有効時は、前／次の曲を再生することはできません。

＊初期設定に戻す

設定メニューで設定した内容を出荷時の状態に戻す。
T30 にあるファイルが消去されることはありません。
YES：実行
NO：中止

＊フォーマット

プレーヤーのメモリに保存されているデータを完全に消去し初期化する。
YES：実行
NO：中止
〈注意〉フォーマットの前に必ずパソコンにバックアップをとってください。消去したデータを復旧することはできません。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェア（プレーヤーの基本ソフトウェア）をアップグレードすることで、最新の機能や追加された機能を使用することができます。常に最新バージョンのファームウェアをお使いになることをおすすめします。
操作について詳しくは別冊「iriver plus 2 ソフトウェア取扱説明書」をお読みください。

1 プレーヤーをパソコンの USB 端子に接続します。

インターネットに接続しているパソコンをご使用ください。

2 iriver plus 2 を起動して、[オプション] ー [ファームウェアのアップグレード] を選択します。



3 確認のメッセージ画面で「はい」をクリックすると、自動的にファームウェアのアップグレードが行われます。

〈注意〉

- アップグレードが完了するまでプレーヤーを取り外さないでください。
- アップグレードが完了するまでプレーヤーの電源を切らないでください。

プレーヤーのフォーマット

プレーヤーのメモリに保存されているデータを完全に消去し初期化します。ファームウェアに異常が発生した場合や、電源を入れたときにエラー画面が表示される場合にも、プレーヤーをフォーマットすることで問題が解決できることがあります。

1 プレーヤーをパソコンの USB 端子に接続します。

2 iriver plus 2 を起動して、［オプション］－［ポータブルデバイスの初期化］を選択します。



3 確認のメッセージ画面で「はい」をクリックすると、フォーマットが行われます。

〈注意〉

- 消去したデータを復旧することはできません。
- フォーマットが完了するまでプレーヤーを取り外さないでください。
- フォーマットが完了するまでプレーヤーの電源を切らないでください。

困ったときは

困ったこと	対処方法
電源がオンにならない	バッテリが不足していないか確認してください。（→ P.6）
	プレーヤーの HOLD スイッチがセットされている場合は解除してください。（→ P.5）
音楽をプレーヤーに転送できない	オーディオ CD から直接プレーヤーに音楽ファイルを転送することはできません。パソコンに録音し、iriver plus 2 を使って転送してください。
音楽ファイルの転送に失敗する	バッテリ残量を確認してください。（→ P.6）また、パソコンとしっかり接続されているか確認してください。
録音したファイルをパソコンにコピーしたい	パソコンと T30 を接続し、［マイコンピュータ］から T30 のアイコンをダブルクリックして開きます。 ［VOICE］または［RECORD］フォルダに保存されているファイルをドラッグ＆ドロップで任意のフォルダにコピーします。不要になった録音ファイルは削除します。
ダイレクト録音したファイルの音が小さい。または、うまく録音できない。	お使いのオーディオケーブルが「抵抗あり」の可能性があります。「抵抗なし」のケーブルをお使いください。
電源が入らなくなった、プレーヤーが反応しなくなった（フリーズしてしまった）。	電池を取り外し、もう一度セットしなおしてください。

プレーヤーの中にあるファイルの名前を変えたい	iriver plus 2 を使って名前の編集を行います。変えたいファイル上で右クリックをし「ファイル名の変更」を選びます。詳しい方法は iriver plus 2 の取扱説明書をご覧ください。
ラジオの受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが接続されているか確認してください。(→ P.7）イヤホンのコードはラジオ受信中のアンテナの役割をします。イヤホンがプレーヤーに接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
	周辺にある電気機器の電源を入れたときに雑音がする場合は、電気機器から離れたところで動作してみてください。
音楽配信サイトで購入した楽曲が再生できない	音楽配信サービスで購入した楽曲をアイリバーのプレーヤーで再生するには、ファイル形式が「WMA 形式」であることが条件となります。 ※再生対応ファイルは Windows Media Audio V7 コーデック以降の WMA ファイルになります。 Yahoo! ミュージック、Mora、Sony Music Online（bitmusic)、iTunes Music Store から購入された楽曲の再生には対応いたしておりません。
WMA ファイルが再生できない	WMA ファイルに著作権保護がかけれている可能性があります。ライセンス情報を正しく転送してください。ライセンス情報は Windows Media Player で確認できます。
iTunes で録音した音楽ファイルが再生できない	iTunes の標準設定で作成された形式の音楽ファイル（AAC）の再生には対応いたしておりません。iTunes メニューの［編集］―［設定］―［詳細］タブ―［インポート］タブ―［インポート方法］を[MP3 エンコーダ]に変更して、再度音楽 CD からインポート(録音）を行ってください。

困ったこと	対処方法
楽曲情報の取得、Gracenote の登録、iriver plus 2 のアップデートができない	パソコンにセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトのファイアーウォール・プログラム制御という機能により、iriver plus 2 の自動的なインターネットアクセス機能が制限されて、オーディオ CD の楽曲情報を取得できない、iriver plus 2 のアップデートを行えない、という状態になります。 Norton Internet Security を導入されている場合、下記手順により制限されているアクセスを許可することが可能です。 （Norton Internet Security2004、2005、2006 の場合） ❶ Norton Internet Security の画面を開く ❷「ファイアウォール」をクリックして、「設定」をクリックする ❸「ファイアウォール」の設定画面で、「プログラム制御」タブをクリックする。 ❹表示された画面の下のプログラム一覧から iriver plus 2、iriver Agent のインターネットアクセス状態を「すべて遮断」から「すべて許可」に変更する ❺画面下の OK ボタンを押し、ファイアーウォール設定画面を閉じ、Norton Internet Security の画面を閉じます 尚、iriver plus 2 のバージョンアップを行うと再度設定を求められる画面が表示されます。この場合には「常に許可する」に設定を行って下さい。

サポート

http://www.iriver.co.jp

iriver の Web サイトの「製品サポート総合案内」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

1. 製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。
製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本書の「困ったときは (P.60)」、iriver の Web サイト (http://www.iriver.co.jp) の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。

3. 付属品・オプション（別売）をお求めの場合

本取扱説明書に記載の付属品やオプション（別売）のご購入を希望される方は、アイリバー・ジャパン サポートセンターの通販窓口または e ストアまでお問い合わせください。

アイリバー・ジャパン サポートセンター　0570-002-220

受付時間：**月〜金**（祝祭日・年末年始を除く）**10:00〜18:00**
ホームページアドレス：http://www.iriver.co.jp

E-mailでのお問い合わせは
ホームページのメールフォームを
ご利用ください

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2-8　天下堂ビル2F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

仕様

メモリ	256MB	512 MB*	1GB	2GB
モデル No.	T30 512MB	T30 512MB	T30 1GB	T30 2GB

* メモリの一部をシステム領域として使用しているため、搭載しているメモリすべてを記憶領域として利用できるわけではありません。

分類	項目	仕様			
オーディオ	周波数範囲	20 Hz ~20 KHz			
	ヘッドホン出力	（L）15 mW +（R）15 mW（16 Ω）最大ボリューム時			
	S/N 比	90 dB（MP3）			
FM ラジオ（搭載モデルのみ）	周波数特性	± 3 dB			
	チャンネル数	ステレオ（左右）			
	FM 周波数範囲	76.0 MHz ~108 MHz			
	S/N 比	60 dB			
	アンテナ	ヘッドホン / イヤホンのコードアンテナ			
ファイルのサポート	ファイルタイプ	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG			
	ビットレート	MP3/WMA ※ : 8 Kbps ~ 320 Kbps、OGG : Q1~Q10			
	タグ情報	ID3 VI、ID3 V2.2.0、ID3 V2.3.0、ID 3 V2.4.0			
音声録音	最大録音時間（32Kbps）	256MB	512MB	1GB	2GB
		約 18 時間	約 36 時間	約 72 時間	約 144 時間
画面	寸法	60（W）× 30.4（D）× 22.1.3（H）mm			
	重量	27g（電池を含まない）			
	画面	バックライトつき 4 行表示グラフィック LCD			
一般仕様と作業環境	言語	40 言語			
	バッテリ	単 4 形アルカリ乾電池 1 本			
	動作温度	-5 ℃ ~ 40 ℃			
	最大再生時間	約 20 時間（128 Kbps、MP3、ボリューム 20、EQ Normal、画面 オフ、フル充電)			

※可逆圧縮の WMA 形式には非対応

T30

iriver

http://www.iriver.co.jp

T30 Series F/W1.62